



お薬の防災



地震や大雨などの災害が各地で起きています。もしもの時、『いつものお薬』は大丈夫でしょうか？
水や食料の備えと一緒に、毎日飲んでいる『お薬』の備えも確認してみましょう。

① お薬手帳を忘れずに！



災害時は、いつもの病院や薬局を利用できないことがあります。「何のお薬を・どのくらい・いつ飲んでいるか」が分かることが大切です。避難するときは、いつものお薬と一緒に『お薬手帳』も持ち出しましょう。

② お薬は少し余裕をもって！

災害時は医薬品がすぐに手に入らないこともあります。厚生労働省では、服用しているお薬について、「3～7日分の予備」を確保しておくことを勧めています。

※ただし、お薬によっては備え方に注意が必要なものもあります。詳しくは薬剤師に相談してください。自己判断で服用を中止せず、避難所の医療スタッフや医療機関・薬局などへ相談しましょう。

③ スマホも「お薬の備え」に！

電子版お薬手帳の利用や、お薬手帳の内容をスマートフォンで写真に撮っておくことも備えになります。災害時には、条件を満たす医療機関・薬局で、本人の同意のもと薬剤情報を確認できる仕組みもあります。

☑ 今日から出来る【お薬の防災】チェック

- ☐ お薬手帳の保管場所を確認した
- ☐ 今飲んでいるお薬を確認した
- ☐ いつものお薬の残りに余裕がある
- ☐ 災害時のお薬について家族とも話した
- ☐ 非常持出袋と一緒に「お薬も必要」と覚えておく



💡 もしもの時のために「かかりつけ薬剤師」を 💡

普段からお薬や健康のことを気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を決めておくことも、備えのひとつです。いつも飲んでいるお薬や体調のことを継続して把握している薬剤師なら、災害時など、いつもと違う状況で困ったときにも相談しやすくなります。

「かかりつけ薬剤師って何？」「私もお願いできる？」気になる方は、スタッフまでお声かけください😊

ピュアタウン薬局公式 LINE のご紹介

よろしければこちらの QR コードから **お友達登録** をお願いいたします。
LINE による『処方せん予約』や『健康やお薬についての相談』など、
便利な機能をお気軽にご利用くださいませ 📍

PURE TOWN

